

令和3年度事業報告

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

事業概況

東日本大震災から11年が経過し、インフラの整備が進み着実に復興に向かっていきます。しかしながら、一方では未だに2万5千人を超える方が県外での避難生活をしているという現実があります。一日も早く震災前の生活が戻ることを願っています。

国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されてから2年が経過しましたが、未だ収束の兆しは見え、国民生活に大きな影響を与えています。新型コロナウイルス感染対策としての人流抑制等により、バス事業を取り巻く環境は、これまで経験をしたことが無いような深刻な影響を受けています。更に、昨年来からの燃料価格の高騰も加わり、いっそう深刻な影響を受けています。

さて、県内の乗合バス事業は、自家用車の普及や少子化等の影響により依然として厳しい経営状況が続いています。更に、深刻な運転者不足の慢性化により、住民生活に不可欠な生活路線の維持に支障をきたすおそれが生じていますが、行政の取り組みと運行事業者の企業努力、創意工夫により何とか生活路線の維持をしている状況です。

このような状況にあって新型コロナウイルス感染としての人流対策等による利用者の減少、更に燃料価格高騰が経営を圧迫し、経営状況は更に厳しくなっています。

貸切バスを取り巻く環境については、震災後、ひどく落ち込んだ県内への観光客の入込数は、徐々に戻ってきたところですが、新型コロナウイルス感染の影響により、イベント、修学旅行の中止、延期等による貸切需要の壊滅的な減少により厳しい経営状況となっています。

コロナ禍において事業の継続や雇用の確保が課題となっていることから、福島県バス協会は昨年に引き続き、国、自治体等の関係機関に対し、バス業界の窮状を訴え、バス事業への支援要請を行いました。支援を頂きました関係機関の皆様へ改めて感謝申し上げます。

バス業界を取り巻く環境は、依然として新型コロナウイルス感染症による深刻な影響を受け、更に、昨年来からの燃料価格高騰により経営状況は一段と悪化しています。このような状況ではありますが、当協会は、この一年間、旅客運送事業にとって最も重要なことは輸送の安全確保であるとの信念のもと、また、会員の新型コロナウイルス感染防止に取り組みつつ、関係行政機関のご指導並びに会員各社のご理解を頂きながらバス事業への信頼確保に努めてまいりましたので、その概要を報告いたします。

1. 乗合バス事業

- (1) 多くの自治体において「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「地域公共交通計画」を計画しているが、福島県バス協会および会員事業者も、その

協議の場である地域公共交通会議に委員として参加し、公共交通の果たすべき役割についての議論を行った。避難指示区域の解除の拡大に伴う帰還住民の足の確保のための公共交通網整備の観点からも同会議への参画は益々重要なものになっていくと思われる。

(2) エコ定期券について

エコ定期券（土・日・祝日適用）について、バス利用者へPRするためポスターを作製するとともに、バス車内及び施設等へ掲示しバスの利用拡大に努めた。

(3) 乗合バス事業の輸送実績について

2021年（令和3年1月～令和3年12月）輸送実績

	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	実車 1Km 当り 運 送 収 入 (円)	実働車 1 日 1 車 当り		
				走行キロ (Km)	輸送人員 (人)	運送収入 (円)
2020年	13,655,758	4,995,112	156.9	169.4	59.8	21,863
2021年	13,300,733	4,471,603	156.0	163.7	61.1	20,553
前年比 (%)	97.4	89.5	99.4	96.6	102.2	94.0

2. 貸切バス事業

(1) 貸切バス事業の輸送実績について

2021年（令和3年1月～令和3年12月）輸送実績

	実働率 (%)	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	実働車 1 日 1 車 当り			運行回数 1 回 当り 実車キロ (Km)
				走行キロ (Km)	輸送人員 (人)	運送収入 (円)	
2020年	23.6	2,527,824	4,983,231	135.2	31.8	62,687	62.9
2021年	25.1	2,266,504	5,189,980	123.4	26.9	61,654	54.8
前年比 (%)	-	89.7	104.1	91.3	84.6	98.4	87.1

3. 関係機関への要望関係

(1) 令和4年度県予算編成に対する要望

R3. 8. 24 自由民主党福島県議会議員会
福島県議会県民連合議員会
公明党福島県議会議員団

(2) 新型コロナウイルス感染関連の支援に対する要望

R3. 6. 2 福島県生活環境部生活交通課
R3. 6. 24 国会議員(菅家一郎議員)
R3. 6. 25 福島県知事
R3. 7. 12 福島市長
R3. 7. 28 国会議員(片山さつき議員)
R3. 8. 24 自由民主党福島県議会議員会・福島県議会県民連合議員会・
公明党福島県議会議員団

(3) 修学旅行等学校行事実施への要望活動

R3. 8. 6 福島県商工労働部観光交流課

- R3. 9. 28 福島県観光交流局・高校教育課
- (4) 燃料価格高騰に対する支援要望
- R4. 3. 4 会津若松市長及び会津若松市議会議長
- (その他) バス事業のPR
- R3. 11. 8 福島民報新聞及び福島民友新聞にバス利用のPR 広告を掲載

4. 安全輸送及び環境対策

- (1) 全国交通安全運動及び年末年始輸送安全総点検の実施について、全会員へ周知し、その推進を図るとともに実施結果を関係機関に報告した。
- (2) 「テロ対策の徹底」についての周知を通じて、日本バス協会が策定した「バスジャック統一対応マニュアル」による対応徹底を図った。
- (3) 飲酒運転防止週間において、「飲酒運転防止対策マニュアル」の徹底について全会員へ周知し、飲酒運転防止に努めた。
- (4) 自動車点検整備推進運動(9月・10月)とエコドライブ強化月間(11月)の「バスの環境対策強化期間」に会員の積極的な参加を呼びかけ、本運動の推進に努めた。
- (5) 交通事故や車内事故を撲滅し、利用者の安全を確保するため、関係行政機関等と連携協力し、「事業用自動車総合安全プラン2025」に基づき各種安全対策を推進するとともに、事故削減等の取組みに努めた。
車内事故防止については、乗合バスを運行する各社に向けて新たに啓発ステッカーを作製・配布し車内事故防止の啓発に努めた。
- (6) 新型コロナウイルス感染予防対策並びにバスの安全運行を維持するため、アルコール消毒液を配布し会員事業者とバスの利用者に手指消毒の徹底やバスの運行維持の確保に努めた。
- (7) 脱炭素社会の実現等を目的とした「ふくしま環境基本計画推進協議会(福島市)」に参画した。

5. ホームページでの情報提供

ホームページをリニューアルし閲覧者の利便向上を図るとともに、当協会の事業概要の他、会員の営業内容等を最新のものに更新し、情報提供を行った。

6. 運輸事業振興助成交付金事業

- (1) 共同施設整備事業として、郡山駅西口バスターミナル案内所の照明機器の交換など修繕を行った。
施設整備に対する助成事業として、停留所標識の新設及び既存施設の上屋補修の他、行先表示機・簡易業務用無線機の導入、更にインバウンドに対応した車内案内データ制作費等に対し助成した。
特に常磐自動車道いわき中央ICにおいては、日本バス協会の活性化助成金を活用すると共に特別積立金を充当し、パークアンドバスライド整備事業として駐車場管制装置等の設置に対し助成をした。
- (2) バス輸送サービス改善事業として、接客サービス研修会を実施した他、バス路線図、旅客サービス資材としてウェットティッシュ・不織布マスク等を作製・配布した他、公益社団法人日本バス協会のバス輸送改善推進事業「人と環境にやさしいバス普及事業」及び「地方路線バス及び貸切バス助成事業」に準じて、バス車両導入に対し助成した。
- (3) 安全運行対策事業として、運転者の適性診断・運行管理者等講習・適性診断活用

講座・運輸安全マネジメント講習等の安全運行に係る各種講習等経費の他、睡眠時無呼吸症候群診断・脳ドック等の健康に起因する事故防止に関する経費、運転記録証明書並びにアルコール検知器・ドライブレコーダー(デジタルタコグラフを含む)等の安全運行機器の導入経費等に対して助成した他、救急法講習会の実施、のぼり旗や車内事故防止ポスター等の配布により事故防止啓発に努めた。

7. バスの日関係

- (1) 地元紙(福島民報・福島民友)にバスの日及び会員等のPRのために全1ページの広告を掲載しバスの利用促進に努めた。
- (2) 「バスに一言」のアンケートを公募し、抽選により70名の方に3,000円分のICカードまたはバス回数券を贈呈した。
また、アンケートの集計結果を全会員へ周知し、バス利用者へのサービス向上に努めた。

8. 運行管理者試験

- (1) 運行管理者試験対策勉強会により、合格率向上に努めた。
- (2) 試験実施結果

	地区別	申請者数	受験者数	合格者数	合格率	勉強会参加者 合格率	備考
第1回	福島県	124	117	32	27.4%	30.4%	※令和3年度試験より CBT試験
	東北	511	481	131	27.2%	-	
	全国	7,240	6,740	2,196	32.6%	-	
第2回	福島県	83	74	25	33.8%	47.6%	
	東北	401	374	117	31.3%	-	
	全国	6,253	5,787	1,999	34.5%	-	

9. 会員数(令和4年3月31日現在)

一般乗合・貸切旅客自動車運送事業者(みなし4条事業者を含む)	14事業者
一般貸切旅客自動車運送事業者	36事業者
計	50事業者
車両数	乗合888両 貸切982両 特定26両 合計1,896両

10. 表彰関係

- (1) 東北運輸局長表彰(令和3年11月1日)
 - 従事者 2名(福島観光自動車1名、新常磐交通1名)
 - 運転者 2名(新常磐交通2名)
- (2) 福島運輸支局長表彰(令和3年11月1日)
 - 従事者 1名(新常磐交通1名)
 - 運転者 4名(福島観光自動車1名、新常磐交通3名)
- (3) 公益社団法人日本バス協会会長表彰(令和3年12月1日)
 - 優良バス運転者表彰 運転者 1名(新常磐交通1名)
 - 観光バスガイド褒章 ガイド 1名(会津乗合自動車1名)